



**TONAMI**

# 第100期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

**TONAMI**

**トナミホールディングス株式会社**  
TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

証券コード 9070

# トナミホールディングス グループビジョン

「和」の経営理念を実践し、  
経営基本方針に基づいて「企業の社会的責任(CSR)」を  
果たしていききたいと考えております。

トナミホールディングスグループは、『輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる』を経営基本方針とし、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底する」ことを行動原則とし、企業の社会的責任を果たしていききたいと考えております。

## 社員行動 規範

社会的責任と公共的使命の重みを常に意識し、  
強い遵法精神と社会的倫理に基づき、良識をもって行動します。

私たちは、

- ▶ お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- ▶ 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- ▶ 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- ▶ 公正な企業活動をします。
- ▶ 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- ▶ 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- ▶ 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- ▶ 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- ▶ コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、この度の令和元年台風第15号および第19号の影響により被害にあわれた皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

物流業界におきましても、被災による日本経済への少なからぬ影響は今後も懸念されており、国内貨物輸送量が2年連続のマイナスが憂慮されていることに加え、人手不足の深刻化、働き方改革の進展にともなう人件費負担や委託費の増大、

また、不透明な燃料価格動向などもあり、厳しい経営環境が続いております。

当社グループは、第21次中期経営計画(2018年4月1日～2021年3月31日)の2年度目となる本年も、「持続的な成長企業への進化!! Try & Growth “2020”」のスローガンのもと、働き方改革を経営の中心に据え、「人にやさしい企業グループ」をめざし、事業継続にむけた経営基盤の強化に邁進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、営業収益において前年同期比1.8%増の68,576百万円、営業利益は同2.5%減の3,415百万円、経常利益は同1.0%増の3,687百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同7.1%増の2,461百万円となりました。

この業績を踏まえ、本年度の中間配当金につきましては、1株当たり50円とさせていただきます。

今後も、海外経済の影響、消費税率引上げ後の消費動向など、先行きの見通しが難しい経営環境が続くことが予想されるなか、当社グループは引き続き第21次中期経営計画の達成にむけ、「持続的な成長の実現と企業価値向上」に努めてまいります。

また、事業収益の拡大を図るとともに、IoTを活用した生産性向上策を推進し、グループの輸配送能力や保管・荷役など多様な機能を一元化し、物流サービスの安定供給に注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

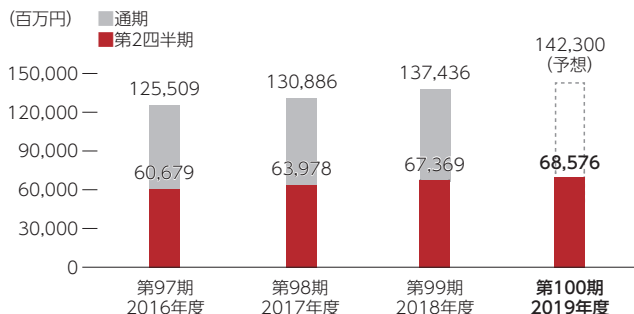
代表取締役社長

綿貫勝介

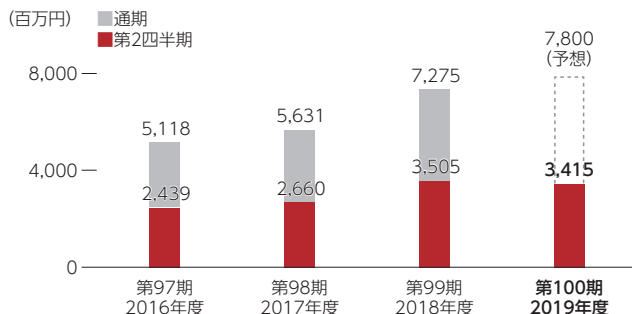
# 連結業績の概要

## 連結業績ハイライト

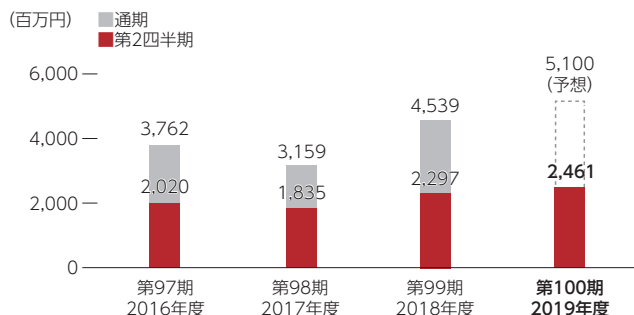
### 連結営業収益



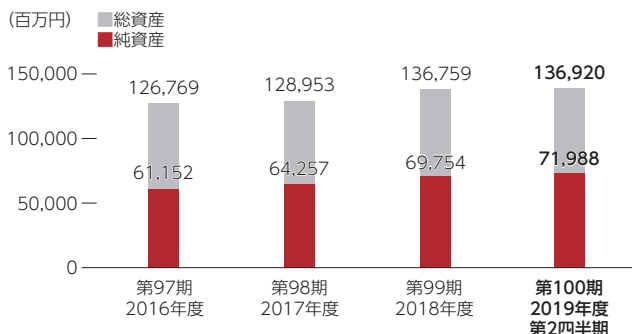
### 連結営業利益



### 親会社株主に帰属する純利益



### 総資産・純資産



## セグメントの業績

物流関連事業は、新規顧客拡販・既存顧客深耕による事業収益の拡大を推進するとともに、荷主企業の物流ニーズに沿うサービスの提案を推進し、3PL事業の伸展などにより営業収益は630億31百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

セグメント利益は、働き方改革にともなうコスト負担や人手不足による外注費の増大により、31億24百万円(同3.1%減)となりました。

情報処理事業では、営業収益が14億89百万円(同13.0%増)、セグメント利益は2億17百万円(同28.0%増)となりました。

物品販売ならびに委託販売業、損害保険代理業の販売事業では、営業収益は31億31百万円(同2.6%増)、セグメント利益は65百万円(同5.4%増)となりました。

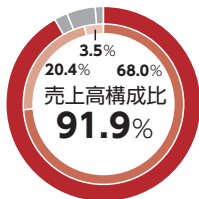
その他では、自動車修理業、その他事業などで営業収益が9億24百万円(同4.9%増)、セグメント利益は80百万円(同10.4%増)となりました。

# セグメント別概況

## 物流関連事業



- 貨物自動車運送事業  
及び貨物利用運送業
- 倉庫業
- 港湾運送事業



営業収益 (百万円)

62,117      63,031

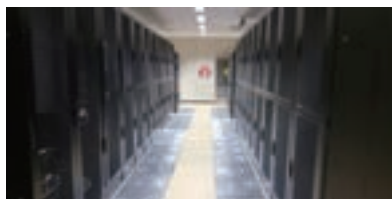
2018年度 9月      2019年度 9月

セグメント利益 (百万円)

3,224      3,124

2018年度 9月      2019年度 9月

## 情報処理事業



売上高構成比  
**2.2%**

営業収益 (百万円)

1,318      1,489

2018年度 9月      2019年度 9月

セグメント利益 (百万円)

169      217

2018年度 9月      2019年度 9月

## 販売事業



売上高構成比  
**4.6%**

営業収益 (百万円)

3,052      3,131

2018年度 9月      2019年度 9月

セグメント利益 (百万円)

61      65

2018年度 9月      2019年度 9月

## その他



売上高構成比  
**1.3%**

営業収益 (百万円)

881      924

2018年度 9月      2019年度 9月

セグメント利益 (百万円)

72      80

2018年度 9月      2019年度 9月

# 通期の見通し&資本政策

## 通期の見通し

今後の経済情勢につきましては、当面弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調が予想されております。ただし、海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向が懸念されます。また、相次ぐ自然災害の経済に与える影響による事業環境の変化に十分留意する必要があります。

当物流業界にあっては、長期化する深刻な労働力不足と、働き方改革関連法に則った労働環境の適正化に必要なコスト負担の増加に加え、国内物量の回復の遅れが続くことも懸念され、厳しい経営環境が続くものとみられます。

このような中、当社グループは、第21次中期経営計画の達成に向け、引き続き

- ▷ 市場・顧客ニーズの変化に対応する事業基盤の強化。
- ▷ 働き方改革の推進。
- ▷ 制度・基準・手法の統一による管理部門の効率化。
- ▷ 高品質経営の推進。
- ▷ グループ企業の役割機能の強化と経営インフラの整備。
- ▷ M&A推進・業務資本提携等の積極的な展開。

の6つの改革に邁進し、持続的な成長の実現と企業価値向上に努めてまいります。

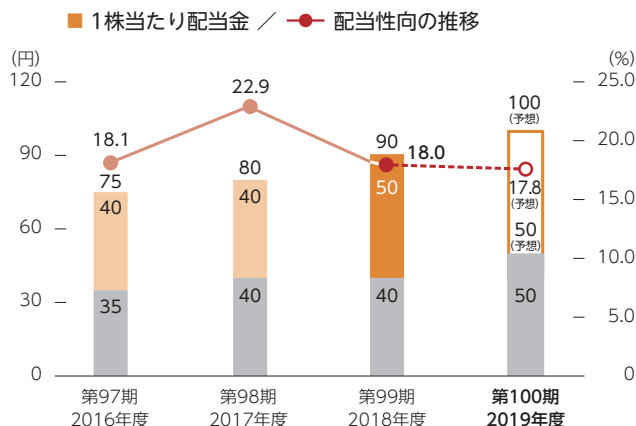
## 連結業績予想

営業収益	<b>142,300</b> 百万円 (前期比 3.5%増)
営業利益	<b>7,800</b> 百万円 (前期比 7.2%増)
経常利益	<b>8,100</b> 百万円 (前期比 4.1%増)
親会社株主に 帰属する当期純利益	<b>5,100</b> 百万円 (前期比12.4%増)

## 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、将来の事業展開に備えた成長投資の原資を確保しつつ、財務の健全性を維持することを前提に、キャッシュ・フローの水準等にも留意して、株主の皆様へ安定配当を行うことを基本としております。

この方針のもと、当期の業績や財務状況、今後の経営環境等を総合的に勘案いたしまして、中長期的な視点に立ち、今後も成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、継続的な成長と企業価値向上に努め、株主の皆様への利益還元をはかりたいと考えております。



(注) 当社は、2017年10月1日をもって普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。上記グラフは株式併合の効果を加味した値に引き直し、1株当たり配当金を表記しております。

# 連結財務データ

## 連結貸借対照表

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科目	当第2四半期 連結会計期間 2019年9月30日現在	前連結会計年度 2019年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>45,757</b>	<b>45,871</b>
現金及び預金	20,234	19,407
受取手形	2,766	3,115
営業未収入金	18,841	19,768
その他の流動資産	3,999	3,694
貸倒引当金	△84	△114
<b>固定資産</b>	<b>91,162</b>	<b>90,887</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>(71,362)</b>	<b>(71,421)</b>
建物及び構築物	19,894	20,322
機械装置及び運搬具	2,719	2,631
土地	41,440	41,453
その他の有形固定資産	7,308	7,014
<b>無形固定資産</b>	<b>(1,259)</b>	<b>(1,305)</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>(18,540)</b>	<b>(18,160)</b>
<b>資産合計</b>	<b>136,920</b>	<b>136,759</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>32,553</b>	<b>39,632</b>
支払手形	927	993
営業未払金	11,872	12,051
短期借入金	8,410	9,748
1年内返済予定の長期借入金	245	3,857
その他の流動負債	11,097	12,981
<b>固定負債</b>	<b>32,378</b>	<b>27,372</b>
社債	5,000	5,000
長期借入金	7,693	2,931
その他の固定負債	19,685	19,441
<b>負債合計</b>	<b>64,932</b>	<b>67,004</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>60,414</b>	<b>58,402</b>
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,699	11,699
利益剰余金	36,597	34,583
自己株式	△2,065	△2,063
その他の包括利益累計額	11,524	11,310
非支配株主持分	50	42
<b>純資産合計</b>	<b>71,988</b>	<b>69,754</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>136,920</b>	<b>136,759</b>

## 連結損益計算書

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科目	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
<b>営業収益</b>	<b>68,576</b>	<b>67,369</b>
営業原価	61,550	60,309
<b>営業総利益</b>	<b>7,026</b>	<b>7,060</b>
販売費及び一般管理費	3,610	3,555
<b>営業利益</b>	<b>3,415</b>	<b>3,505</b>
営業外収益	421	369
営業外費用	150	223
<b>経常利益</b>	<b>3,687</b>	<b>3,650</b>
特別利益	233	64
特別損失	63	77
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>3,857</b>	<b>3,637</b>
法人税、住民税及び事業税	1,234	1,259
法人税等調整額	151	73
<b>四半期純利益</b>	<b>2,471</b>	<b>2,304</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	6
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,461</b>	<b>2,297</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

◎単位:百万円、単位未満切り捨て

科目	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,647</b>	<b>4,585</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,697	△1,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,121	△2,146
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>828</b>	<b>724</b>
現金及び現金同等物の期首残高	19,262	17,262
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>20,090</b>	<b>17,986</b>



## 1 TOPICS

# 「特定保健指導を遠隔面談で実施」

トナミ運輸

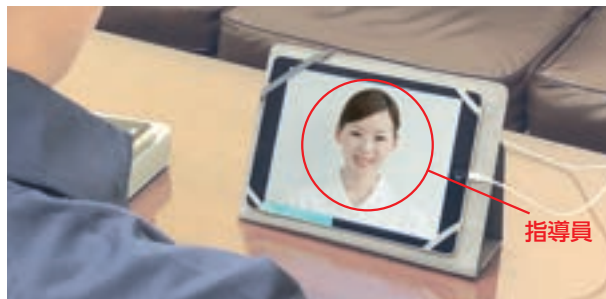
トナミホールディングスグループ中核のトナミ運輸は、2018年6月よりタブレット端末を使用した、遠隔面談での特定保健指導（協会けんぽが実施する保健師面談）を行っています。

定期健康診断の結果から、生活習慣の改善が必要なメタボリック症候群のリスクがあると判定された人を対象に、協会けんぽ富山支部では特定保健指導を実施しており、同社における該当者は2割以上となっています。指導は対象者のいる事業所を保健師らが訪れて面談を行います。勤務形態がそれぞれ異なるため、時間調整が難しく、なかなか面談ができておりませんでした。

そのため、社員の健康、特にドライバーの健康により一層配慮したいとの思いから、タブレット端末を使用した遠隔面談を導入しました。対象者は事業所内に設けられたプライバシーを配慮したスペースで、就業時間内の都合のつく時間に、保健師や管理栄養士から直接食事や運動のアドバイスやサポートを受けることができます。

テレビ電話で受けられる遠隔面談を始めたことで、ワークスタイルに合わせた指導を行うことが可能となり、以前まで3割ほどだった面談実施率が9割以上に上昇しました。

今後も社員の「こころ」と「からだ」への配慮を通し、社員一人ひとりが活躍できる職場づくりに取組んでまいります。



## 2 TOPICS

# 「在宅勤務制度を導入」

KSR

当社グループで情報処理事業を営んでいるKSRでは、働き方改革の一環として在宅勤務制度を導入しました。これは、ネットワークパソコン等のICTを活用し、場所にとらわれない職場環境を構築することにより、生産性の向上・人材の確保をめざすものです。業務の効率化を通じて、ゆとりある生活と仕事の両立を図れるよう、今後も取組んでまいります。





### 3 TOPICS

## 「ランドセルをアフガニスタンへ寄贈」

トナミ運輸

トナミ運輸は、国際協力NGOジョイセフが行っている「想い出のランドセルギフト・眠っているランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ」と題した取組みに参画しました。この取組みは、役目を終えたランドセルを寄贈し、子どもたちの就学に役立つ国際支援活動です。家庭で眠っているランドセルがないか社員へ呼びかけたところ、178個のランドセルが集まりました。集まったランドセルは、ジョイセフを通じてアフガニスタンの子どもたちに贈られました。

また、2019年6月22日に実施されたランドセル検品作業ボランティアに、同社社員が参加しました。当日は、全国から集まった4,404個のランドセルを83名のボランティアスタッフが検品作業を行いました。



### 4 TOPICS

## 「世界選手権大会で保木・小林ペアが準優勝」

トナミ運輸

第25回世界バドミントン選手権大会が8月19日から25日までスイスのバーゼルにおいて開催され、男子ダブルス保木卓朗・小林優吾ペアが準優勝を果たしました。

今後も様々な大会での活躍をめざし、日頃からご支援・ご声援下さる皆様に感謝の気持ちを忘れず、更なる精進を重ね、期待に応えてまいります。



△左から保木卓朗 選手、小林優吾 選手

## トナミホールディングス株式会社

■ 設立	1943年6月1日
■ 資本金	141億8千2百万円
■ 本社所在地	富山県高岡市昭和町3丁目2番12号 (〒933-8788)
■ 連結従業員数	6,547名
■ 役員	
代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
取締役	寺 林 康 男
取締役	寺 拜 豊 信
取締役	三 枝 保 弘
取締役	佐 藤 公 昭
社外取締役	犬 島 伸 一 郎
社外取締役	田 中 一 郎
常勤監査役	武 部 正 文
常勤監査役	輪 達 光 春
社外監査役	松 村 篤 樹
社外監査役	尾 田 利 之

## トナミホールディングスグループ

### 物流事業子会社

- トナミ運輸株式会社
- トナミ運輸信越株式会社
- トナミ運輸中国株式会社
- 京神倉庫株式会社
- トナミ国際物流株式会社
- 北関東トナミ運輸株式会社
- 株式会社テイクワン
- 株式会社ケーワイケー
- 関東トナミ運輸株式会社
- トナミ首都圏物流株式会社
- 新潟トナミ運輸株式会社
- 北陸トナミ運輸株式会社
- 石川トナミ運輸株式会社
- 福井トナミ運輸株式会社
- 阿南自動車株式会社
- トナミ第一倉庫物流株式会社
- トナミ近畿物流株式会社
- 中央冷蔵株式会社

### 関連事業子会社

- トナミビジネスサービス株式会社
- 東洋ゴム北陸販売株式会社
- トナミ商事株式会社
- KSR株式会社

### その他関連会社

- 北海道トナミ運輸株式会社
- ジャパン・トランス・ライン株式会社
- 株式会社ジェスコ
- 高岡ケーブルネットワーク株式会社
- 高岡通運株式会社
- 東砺運輸株式会社

### 海外現地法人

- 托納美物流（大連）有限公司
- TONAMI (THAILAND) Co., Ltd.  
(トナミ タイランド カンパニー リミテッド)
- Mahaporn Transport Co., Ltd.  
(マハポーン トランスポート カンパニー リミテッド)
- H&R Forwarding Co., Ltd.  
(エイチ アンド アール フォワーディング カンパニー リミテッド)



## トナミ運輸株式会社

- 設立 2008年10月1日
- 資本金 100億円
- 本社所在地 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号  
(〒933-8566)

### ■ 役員

代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
常務取締役	寺 拝 豊 信
取締役上席執行役員	山 本 和 人
取締役上席執行役員	高 田 一 哉
取締役上席執行役員	飛 弾 芳 彦
取締役上席執行役員	佐 藤 公 昭
取締役上席執行役員	小 島 鉄 也
取締役上席執行役員	星 山 宗 洙
取締役上席執行役員	松 永 隆
常勤監査役	武 部 正 文
常勤監査役	輪 達 光 春

### ■ トナミ運輸株式会社 主要な事業所

- 東京都** 東京支店、京浜支店、葛西支店、板橋支店、足立支店、江東流通センター
- 千葉県** 千葉支店、野田支店、千葉流通センター、南柏流通センター、柏インター流通センター、野田整備工場
- 茨城県** 鹿島支店、新関東流通センター
- 神奈川県** 川崎支店、相模支店、東横浜支店、横浜営業所、川崎流通センター、相模流通センター、東横浜流通センター、平塚流通センター
- 埼玉県** 浦和支店、久喜支店、熊谷支店、久喜流通センター、浦和流通センター
- 栃木県** 栃木支店
- 群馬県** 高崎支店
- 宮城県** 仙台営業所
- 富山県** 中央支店、富山支店、砺波支店、黒部営業所、通運高岡支店、富山流通センター、小杉流通センター、小矢部流通センター、新港流通センター、砺波整備工場
- 石川県** 金沢支店、小松支店、能登支店、金沢航空支店、金沢流通センター、金沢整備工場
- 福井県** 福井支店、敦賀営業所、福井整備工場
- 岐阜県** 岐阜営業所
- 愛知県** 名岐支店、港支店、小牧支店、岡崎営業所、豊橋営業所、小牧第2流通センター、清須流通センター、名岐流通センター、名古屋整備工場
- 三重県** 四日市営業所、上野営業所、四日市流通センター
- 静岡県** 静岡支店、浜松支店、富士支店、藤枝営業所
- 滋賀県** 滋賀支店、滋賀整備工場
- 京都府** 京都支店、京都流通センター、京阪流通センター
- 大阪府** 南大阪支店、大阪中央支店、東大阪支店、泉佐野支店、北大阪支店、南大阪流通センター、南大阪流通第2センター、大阪中央流通センター、東大阪流通センター、西淀川流通センター、関西センター
- 奈良県** 奈良営業所、奈良流通センター
- 兵庫県** 尼崎支店、神戸支店、加古川支店、加古川流通センター

## トナミ運輸信越株式会社

- 本社所在地 新潟県新潟市西区北場1087-1

### ■ トナミ運輸信越株式会社 主要な事業所

- 長野県** 長野支店、上田営業所
- 新潟県** 新潟支店、長岡支店、上越営業所、新潟流通センター、長岡流通センター、燕物流センター、新潟整備工場

## トナミ運輸中国株式会社

- 本社所在地 広島県広島市西区草津港3-2-1

### ■ トナミ運輸中国株式会社 主要な事業所

- 岡山県** 岡山支店、岡山流通センター
- 広島県** 広島支店、福山営業所、通運広島支店
- 山口県** 徳山営業所

## 株式の状況 (2019年9月30日現在)

## 株主メモ

### 株式の状況

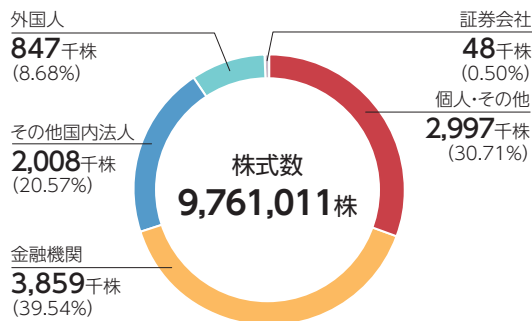
発行可能株式総数	29,920,000株
発行済株式の総数	9,761,011株
株主数	4,797名

### 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	966	10.66
明治安田生命保険相互会社	694	7.66
トナミ運輸従業員持株会	473	5.22
トナミ共栄会	429	4.74
株式会社北陸銀行	336	3.71
三菱ふそうトラック・バス株式会社	325	3.59
東京海上日動火災保険株式会社	322	3.56
TOYO TIRE 株式会社	299	3.30
トナミ親和会	292	3.23
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	270	2.98

(注) 上記のほか当社所有の自己株式695千株があります。

### 所有者区別株式分布状況



## トナミホールディングス株式会社

TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号  
TEL : (0766) 32-1073 (代表) FAX : (0766) 32-1077

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

### 公告方法

当社のホームページに掲載します  
<http://www.tonamiholdings.co.jp/investor/public-notice/>  
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します)

### 株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関 (郵便物送付先)

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-782-031  
(受付時間：土・日・祝日・年末年始を  
除く9：00～17：00)

### (電話照会先)

上場証券取引所 東京証券取引所

### 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

証券会社などの口座で  
株式を保有されている  
株主様

お取引のある証券会社にお  
お問い合わせください。

特別口座で株式を  
保有されている株主様

三井住友信託銀行にお  
お問い合わせください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問  
い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。